

# JTEKT

株主のみなさまへ

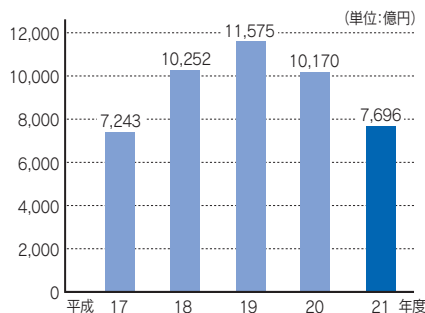
平成22年3月期報告書

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

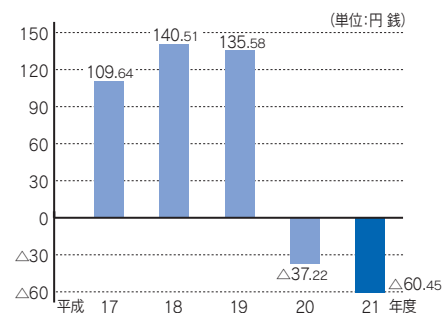


## 連結決算ハイライト

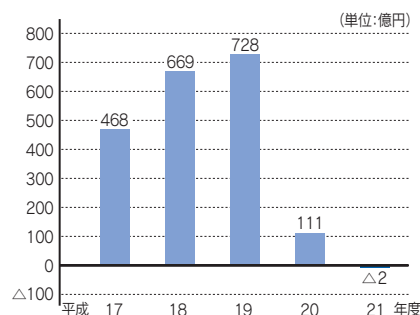
◎連結売上高



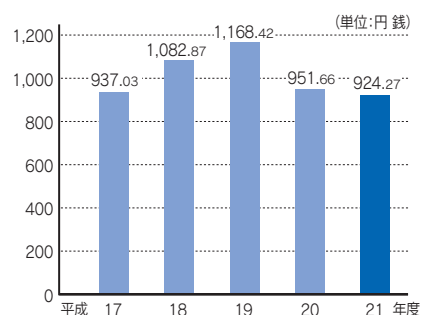
◎1株あたり当期純損益



◎連結経常損益



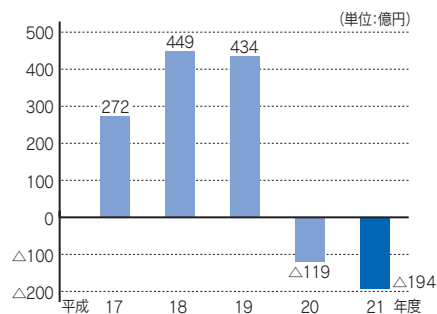
◎1株あたり純資産



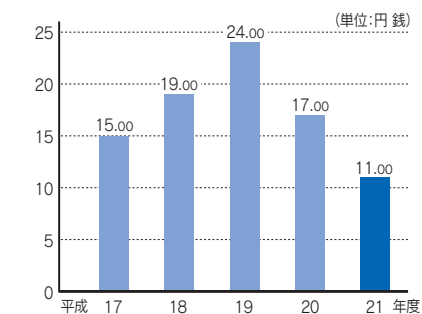
## 目次 Contents

- 連結決算ハイライト ..... 1
- 株主のみなさまへ ..... 2
- 新技術・新商品紹介 ..... 3
- 社会貢献活動 ..... 4
- グローバル事業活動 ..... 5-6
- 連結財務諸表 ..... 7
- 単独財務諸表 ..... 8
- 株式の状況/株価の推移 ..... 9
- 会社の概要 ..... 10

◎連結当期純損益



◎1株あたり配当金



# 株主のみなさまへ

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜わり心から厚くお礼申し上げます。

当期の世界経済は、各国の景気刺激政策の効果により、景気は下げ止まり、緩やかな持ち直しの兆しが見られました。特に新興国においては、先進国に比べいち早く景気回復が鮮明となりました。日本経済につきましても、アジア経済の景気回復に伴う輸出の拡大によって、景気は緩やかな回復基調にあります。当社グループの事業領域では、自動車分野がエコカー減税や補助金政策の効果により販売が回復しつつありますが、産業機械分野では企業の設備投資が前期に比べ、低水準で推移しております。為替相場につきましても、円高基調が依然続いております。

このような経営環境の下、当社グループでは、急激な生産・販売量の減少や円高基調に対応するため、各地域の需要に応じた「最適な生産・販売体制の再構築」および「現地生産・現地調達への拡大」、「徹底的な無駄の排除によるコスト低減」などの収益基盤の再構築に取り組んでまいりました。

しかしながら、当期の連結業績につきましては、年度前半の世界的な自動車販売の減少や企業の設備投資の抑制により、売上高は7,696億82百万円と前期に比べ、2,473億89百万円(24.3%減)の減収となりました。利益につきましては、人件費や経費、外部調達コスト等を削減しましたものの、大幅な売上高の減少による影響を補うことができず、営業損益では4億25百万円の利益(前期は223億70百万円の利益)を計上しましたが、経常損益では2億52百万円の損失(前期は111億9百万円の利益)となりました。また、当期純損失は収益基盤の再構築に伴う事業構造改善費用の計上等により194億13百万円となりました。

期末配当金につきましては、1株につき6円とさせていただきます。その結果、年間配当金は1株につき11円(中間配当金は1株につき5円)となりました。

当社グループでは経営環境の変化に迅速かつ柔軟に対応できる企業体質の構築に取り組んでまいります。短期的な取り組みとしては、更なる生産性の向上や設計・生産技術・生産・調達が一体となった低コスト化技術の開発により、コスト構造の抜本的な改革を図ってまいります。

中長期的な「将来の成長に向けた取り組み」では、地球規模の課題である温暖化をはじめとした環境問題への取り組みを企業に課せられた重要な使命と考え、省エネルギー・低炭素で地球にやさしい商品の開発を進めてまいります。また、世界中のお客様の視点に立ち、各地域やお客様の多様なニーズを先取りした商品の開発、供給体制を構築するとともに、品質の向上により一層努めてまいります。

株主のみなさまにおかれましては、なにとぞ変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年6月



取締役会長 吉田 紘司



取締役社長 井川 正治

吉田 紘司 井川 正治

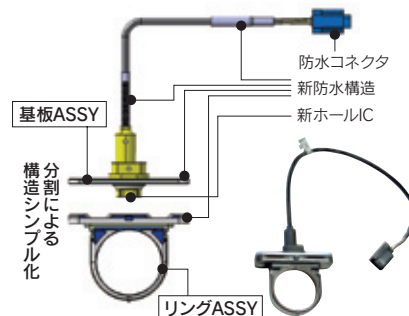
# 新技術・新商品紹介

地球環境にやさしいモノづくりを通じて  
豊かな社会づくりに貢献しています。

### ステアリング

## 構造のシンプル化と内製化により、コストダウンと高信頼性の確保を達成 ～防水型ホールICトルクセンサを開発～

トルクセンサとは、ステアリングホイールの操舵力を検出する機能を持ち、モーターのアシストトルクを決定するための重要な役割を担っています。防水型ホールICトルクセンサは、主にエンジンルーム内に搭載される電動パワーステアリング用に開発。室内に比べ厳しい使用環境に対応するため、新防水構造や新ホールIC素子等の採用により、高い信頼性を確保しつつ、構造のシンプル化と内製化により大幅なコストダウンを達成しました。

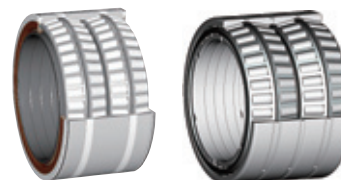


### 軸受

## 軸受材料を開発し、大幅な長寿命化を実現

～圧延機ロールネック用 長寿命高耐食性軸受[JHS520]の開発～

鉄鋼設備用軸受の長寿命、高耐久性を実現した製品『JHS（ジェイテクト・ハイパー・ストロング）軸受シリーズ』の第一弾として、圧延機ロールネック用長寿命高耐食性軸受[JHS520]を開発。新開発した軸受材料を採用し、軸受の転がり疲労寿命と耐食性の向上を可能にし、大幅な長寿命化を実現しました。



シール付幅狭TYPE

オープンTYPE

### 工作機械 メカトロニクス

## 世界初の最新鋭技術や高能率加工技術の提案

～ジェイテクトテクニカルフェア2009を開催～

カスタマーセンター（愛知県刈谷市）にて、2009年11月4日～5日『ジェイテクトテクニカルフェア2009』を開催。“モノづくりの明日が見える”をコンセプトに、今後の成長が期待できる環境対応市場に向け新開発した工作機械13機種並びに、ジェイテクトグループ各社の製品を紹介。中国をはじめ国内外のお客様約2,000名に世界初の最新鋭技術や高能率加工技術をご提案いたしました。



### 【新商品代表例】

- 高精度・高能率複合研削盤：TG4 グラインディングセンタ
- 大型複合研削盤：SelectG7
- 横形（W軸付）大型マシニングセンタ：FX1250SW
- 立形5軸制御マシニングセンタ：UX570-5Axis
- 門形マシニングセンタ：RB/SBシリーズ 等々

# 社会貢献活動

ジェイテクトでは、社会の一員である「企業市民」として地域のみなさまとのふれあいや語らいの場づくりに取り組んでいます。

## 青少年育成活動

当社は、次世代を担う人材を育成するために、ノウハウや人材の提供に力をいれています。

ジェイテクト技能士会はものづくりの指導を行い、親子でその楽しさを体感し、ものづくりへの興味を持ってもらうために、8月に刈谷工場技能センターで親子ものづくり体験教室を開催しました。当日は地域住民の方々を含めた45家族、115名の親子に参加いただきました。また、当社男子バレーボール部は、2009/10年Vチャレンジリーグ優勝の実力を生かして各地域でバレーボール教室を開催しており、3月には当社東京工場



地域の小学生に向けたバレーボール教室

にて、地域小学生チームを対象にバレーボール教室を開催しました。当日は当社従業員の家族も加わり、地域と交流しました。その他、社有の体育館・グラウンドの開放や、工場見学を通じて、全社で青少年育成活動に取り組んでまいります。



JTEKT STINGSの選手のコーチング



親子ものづくり体験教室  
リニアモーターカプセルづくり

## 地域とのふれあい

当社では地域のみなさまとのふれあいや語らいの場づくりに努めています。昨年は、国内10工場で『工場フェスティバル』を開催。それぞれの工場で趣向を凝らしたイベント（地域学生のプラスバンド部や地域の和太鼓チームを招待し、日頃の練習の成果を

発表してもらったり、バレーボール教室や工場見学ツアーなど）を行い、地域のみなさまや社員を含め、全社で延べ 約8,000人の方々に楽しんでいただきました。今後も垣根を越えた一体感を大切に、地域と共に豊かな社会づくりに取り組んでまいります。

## グローバル事業活動

## 日本

## 拠点数 計43拠点

本社	2
研究開発	3
営業本部	1
事業本部	3
テクニカルセンター	5
ステアリング製造	3
ベアリング製造	5
駆動部品製造	2
工作機械・メカトロ製造	1
販売・サービス	18

## Topics

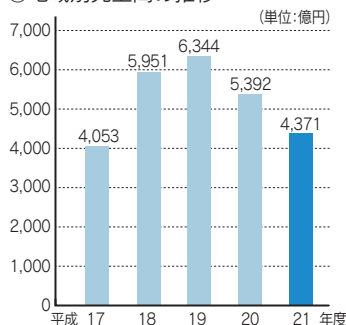
## 日刊工業新聞十大新製品賞受賞

第52回日刊工業新聞社 十大新製品賞にて、「CNC複合研削盤TG4グライディングセンタ」が「モノづくり賞」を受賞。近年、生産設備の市場ニーズとして高付加価値生産、リードタイム短縮などが求められており、これらを受けて開発した「TG4」は、これまで2台必要であった研削工程を1台に集約するなど小型化・省スペース化を実現。さらに、工程集約によりランニングコストを大幅低減できる複合研削盤として高い評価を受けました。



TG4グライディングセンタ

## ◎地域別売上高の推移

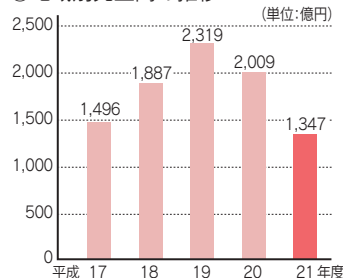


## 欧州

## 拠点数 計31拠点

地域統括	3
テクニカルセンター	6
ステアリング製造	5
ベアリング製造	7
駆動部品製造	2
販売・サービス	8

## ◎地域別売上高の推移

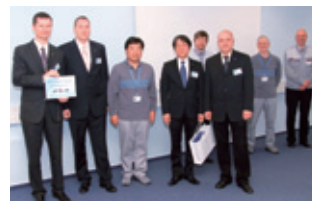


## Topics

## 2年連続の受賞 TPCAから優秀賞を受賞

TPCA(※)のサプライヤー表彰式において、JTEKT AUTOMOTIVE CZECH PLZEN, S.R.O.(チェコ:ステアリング生産現法)が仕入先200社の中から上位15社に選出され優秀賞をいただきました。この賞は、品質・納期面での活動を評価されたもので、昨年の最優秀賞に続き、2年連続の受賞となりました。今後も関係機関との連携を取りながらお客さまに満足していただけるよう取り組んでまいります。

※TPCA: Toyota Peugeot Citroën Automobile Czech, トヨタ自動車㈱とPSA・プジョーシトロエンが合併で設立したチェコの自動車生産会社。



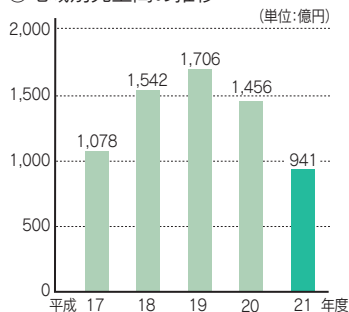
TPCA表彰式

## 北米

### 拠点数 計18拠点

地域統括	1
テクニカルセンター	4
ステアリング製造	4
ベアリング製造	3
駆動部品製造	1
販売・サービス	5

#### ◎地域別売上高の推移



## Topics

### 自動車部品分野で世界No. 1を目指す ティムケン社ニードル軸受事業歓迎式典

ティムケン社から譲り受けたニードル軸受事業の歓迎式典を新会社KOYO BEARINGS USA LLC [SALES DIV.] (アメリカ:ベアリング生産販売現法)で開催しました。お客様第一、品質最優先、創造と革新への情熱を持って自動車部品分野で世界No. 1を目指してまいります。



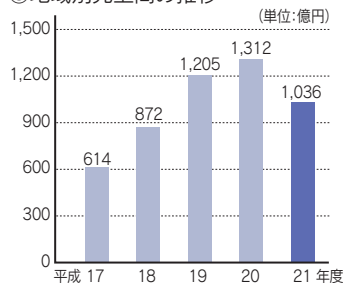
ティムケン社ニードル軸受事業歓迎式典

## アジア・オセアニア・その他

### 拠点数 計38拠点

地域統括	2
テクニカルセンター	2
ステアリング製造	10
ベアリング製造	9
駆動部品製造	1
工作機械製造	2
販売・サービス	12

#### ◎地域別売上高の推移



## Topics

### 中国No. 1のモデル工場を目指して 新工場建設に伴う地鎮祭を開催

YOBEI KOYO STEERING SYSTEM CO., LTD. (中国:ステアリング生産現法)で新工場建設のスタートに当たって地鎮祭を行いました。年間100万台の生産を目標とし、「愚直に」「地道に」「徹底的に」を合言葉に、JPS(※)の全面展開で中国No. 1のモデル工場を目指します。

※JPS:JTEKT Production System (ジェイテクト生産方式)。ムダの徹底的排除による効率的な生産を追求する方式。



YKS新工場建設  
地鎮祭

## 連結財務諸表

## 連結貸借対照表

(平成22年3月31日現在)

科目	金額	科目	金額
<b>資産の部</b>		<b>負債の部</b>	
流動資産	436,498	流動負債	359,850
現金及び預金	58,284	支払手形及び買掛金	151,485
受取手形及び売掛金	169,416	短期借入金	103,268
有価証券	43,630	その他	105,097
棚卸資産	124,402	固定負債	171,995
その他	41,691	長期借入金	80,692
貸倒引当金	△ 927	その他	91,302
固定資産	410,507	負債合計	531,845
有形固定資産	319,830	<b>純資産の部</b>	
機械装置及び運搬具	158,121	株主資本	312,065
その他	161,709	資本金	36,879
無形固定資産	9,762	資本剰余金	99,525
投資その他の資産	80,913	利益剰余金	176,037
		自己株式	△ 376
		評価・換算差額等	△ 15,246
		その他有価証券評価差額金	11,436
		為替換算調整勘定	△ 26,682
		少数株主持分	18,341
		純資産合計	315,159
資産合計	847,005	負債及び純資産合計	847,005

## 連結損益計算書

(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)

科目	金額
売上高	769,682
売上原価	679,913
売上総利益	89,769
販売費及び一般管理費	89,344
営業利益	425
営業外収益	5,173
営業外費用	5,851
経常損失	252
特別利益	3,153
特別損失	19,130
税金等調整前当期純損失	16,229
法人税等	3,458
少数株主損失	274
当期純損失	19,413

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。



# 単独財務諸表

## 貸借対照表

(平成22年3月31日現在)

科目	金額
<b>資産の部</b>	
流動資産	252,346
固定資産	383,227
有形固定資産	149,349
無形固定資産	3,159
投資その他の資産	230,718
<b>資産合計</b>	<b>635,574</b>
<b>負債の部</b>	
流動負債	242,052
固定負債	125,859
<b>負債合計</b>	<b>367,911</b>
<b>純資産の部</b>	
株主資本	256,914
資本金	36,879
資本剰余金	99,518
利益剰余金	120,855
自己株式	△ 338
評価・換算差額等	10,747
その他有価証券評価差額金	10,747
<b>純資産合計</b>	<b>267,662</b>
<b>負債及び純資産合計</b>	<b>635,574</b>

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 損益計算書

(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)

科目	金額
<b>売上高</b>	<b>484,281</b>
売上原価	449,419
<b>売上総利益</b>	<b>34,861</b>
販売費及び一般管理費	40,066
<b>営業損失</b>	<b>5,204</b>
営業外収益	8,885
営業外費用	2,606
<b>経常利益</b>	<b>1,074</b>
特別利益	2,480
特別損失	8,360
<b>税引前当期純損失</b>	<b>4,805</b>
法人税等	△ 2,328
<b>当期純損失</b>	<b>2,476</b>

### 期末配当金について

平成22年6月29日開催の第110回定時株主総会において、平成22年3月31日最終の株主名簿に記録された株主もしくは登録株式質権者に対し、次のとおり期末配当を支払うことを決議いたしました。

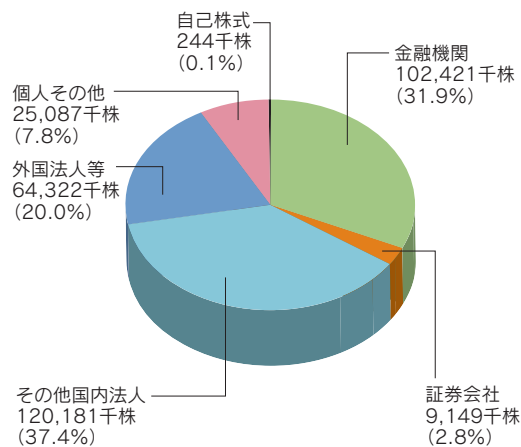
- |                  |            |
|------------------|------------|
| 1. 期末配当金         | 1株につき6円    |
| 2. 効力発生日および支払開始日 | 平成22年6月30日 |

# 株式の状況 (平成22年3月31日現在)

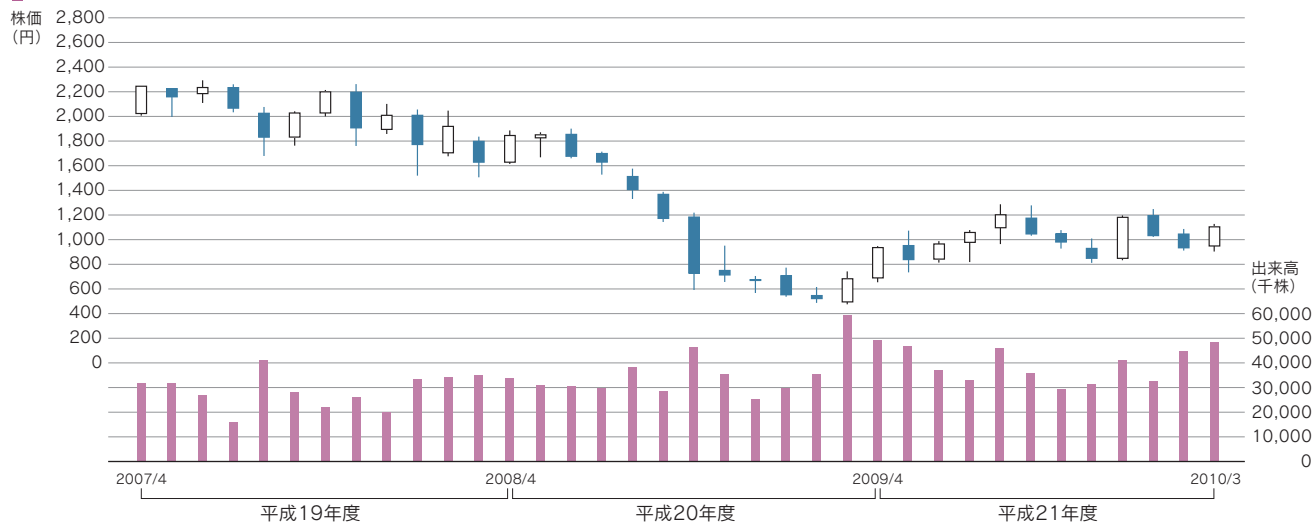
- 1. 株式の総数 発行可能株式総数 1,200,000千株  
発行済株式の総数 321,406千株
- 2. 株主数 21,908名
- 3. 大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)
トヨタ自動車株式会社	72,435
株式会社デンソー	17,611
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	15,536
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	12,483
日本生命保険相互会社	12,361
株式会社豊田自動織機	7,493
株式会社りそな銀行	6,749
住友信託銀行株式会社	6,729
株式会社三井住友銀行	6,366
豊田通商株式会社	5,649

- 4. 所有者別分布状況  
(発行済株式の総数に対する割合)



## 株価の推移



# 会社の概要

商号(社名)	株式会社ジェイテクト JTEKT CORPORATION	資本金	36,879百万円(平成22年3月31日現在)
本店所在地	大阪市中央区南船場三丁目5番8号	売上高	769,682百万円(平成22年3月期(連結)) 484,281百万円(平成22年3月期(単独))
本社所在地	名古屋本社 名古屋市中村区名駅四丁目7番1号 大阪本社 大阪市中央区南船場三丁目5番8号	従業員数	35,465名(平成22年3月31日現在(連結)) 10,105名(平成22年3月31日現在(単独))
電話番号	名古屋本社 052-527-1900 大阪本社 06-6271-8451		

## 取締役及び監査役 (平成22年6月29日現在)

取締役会長	吉田 紘司	専務取締役	米田 孝夫	常勤監査役	榎本 真丈
取締役副会長	横山 元彦	専務取締役	河上 清峯	常勤監査役	藤井 博一
取締役社長	井川 正治	常務取締役	島谷 均一	監査役	深谷 紘一
取締役副社長	長井 正和	常務取締役	井坂 雅一	監査役	新美 篤志
専務取締役	久田 修義	取締役	内山田 竹志	監査役	小林立 正明
専務取締役	鈴木 隆昭				
専務取締役	伊藤 寛				

## 執行役員 (平成22年6月29日現在)

常務執行役員	角井 隆一	執行役員	堀内 雄介	執行役員	大村 秀一
常務執行役員	酒井 祥夫	執行役員	新井 東	執行役員	山本 勝巳
常務執行役員	中谷 富造	執行役員	高橋 伴和	執行役員	島田 和典
常務執行役員	松本 久幸	執行役員	瀧井 裕一		
執行役員	貝嶋 博幸	執行役員	上川 正樹		
執行役員	北村 昌之	執行役員	植竹 伸二		
執行役員	入谷 清宏	執行役員	宮崎 博之		
執行役員	村瀬 昇也	執行役員	辻 義恵		
執行役員	仲村 元靖	執行役員	荒木 司		
執行役員	中野 史郎	執行役員	森 豊		

---

## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
定時株主総会 6月  
株主確定基準日 (1)定時株主総会・期末配当金 3月31日  
(2)中間配当金 9月30日  
その他必要のあるときは、あらかじめ公告  
して基準日を定めます。  
公告の方法 当社のホームページに掲載いたします。  
[http://www.jtekt.co.jp/ir/notification\\_h.html](http://www.jtekt.co.jp/ir/notification_h.html)  
上場証券取引所 東京、大阪、名古屋

株主名簿管理人 および 大阪市中央区北浜四丁目5番33号  
特別口座の口座管理機関 住友信託銀行株式会社  
株主名簿管理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号  
事務取扱場所 住友信託銀行株式会社 証券代行部  
(郵便物送付先) 〒183-8701  
東京都府中市日鋼町1番10  
住友信託銀行株式会社 証券代行部  
(電話照会先) ☎0120-176-417  
(インターネットホームページURL) <http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>

---

## お知らせ

【住所変更、単元未満株式の買取請求・買増請求、配当金の受取方法のご指定等のお届出およびご照会について】

- 株券電子化前に、証券会社等に口座をお持ちでなく、特別口座が開設された株主様  
上記の特別口座の口座管理機関である住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 証券会社等に口座をお持ちである株主様  
お取引先の証券会社等にお申出ください。

【未払配当金のお届出およびご照会について】

上記の株主名簿管理人である住友信託銀行株式会社にお申出ください。



<http://www.jtekt.co.jp>



この報告書は、環境に優しい大豆油インキを使用して印刷しています。